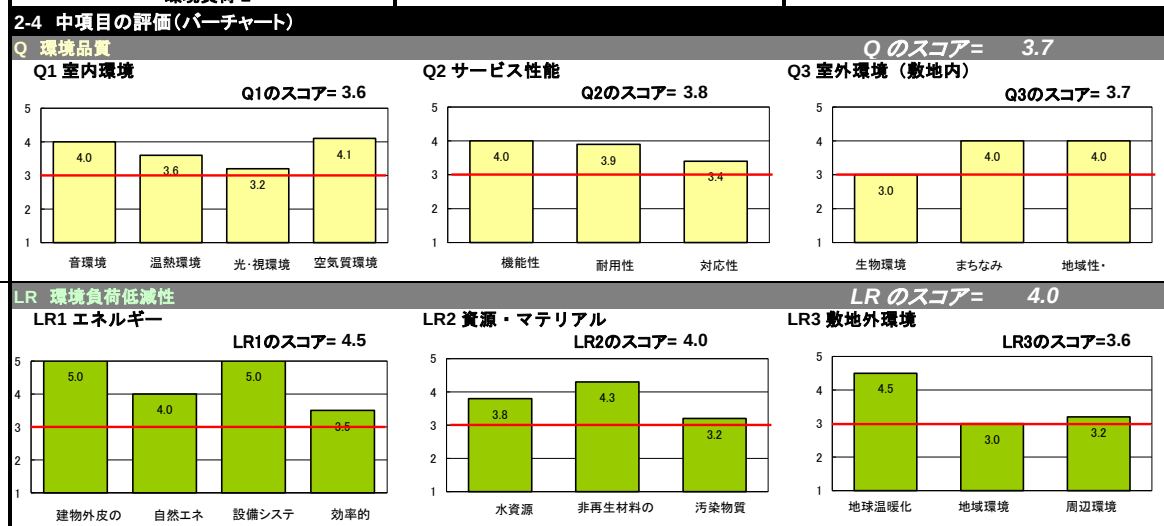
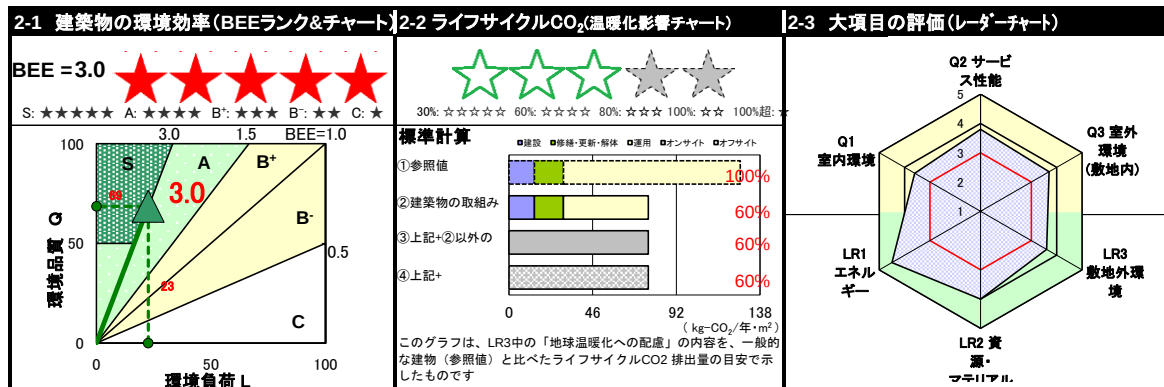


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	知多市新庁舎	階数	地上5階	
建設地	愛知県知多市緑町25番地1	構造	S造	
用途地域	商業地域	平均居住人員	474 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	2,340 時間/年	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2026年11月 予定	評価の実施日	2025年2月28日	
敷地面積	13,000 m ²	作成者	川島 達也	
建築面積	2,908 m ²	確認日	2025年2月28日	
延床面積	11,087 m ²	確認者	土井 英尚	



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮 4.5	③敷地内の緑化 3.0	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 21.7 %
		建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 4.6 %
②資源の有効活用 3.9	④地域材の活用 2.0	<外装材に使用した地域性のある材料> なし
		<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> 知多木綿を内装材に使用

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

$$\text{外構緑化指数} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指数} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$$


CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
知多市新庁舎

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体	
配慮項目	独自基準	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体		
Q 建築物の環境品質										3.7		
Q1 室内環境						0.40			-	3.6		
1 音環境				0.1	4.0	0.15	-	-	-	4.0		
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40		3.0	-			
1.2 遮音				0.4	5.0	0.40		-	-			
1 開口部遮音性能				-	5.0	0.60		3.0	-			
2 界壁遮音性能				-	5.0	0.40		3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	-		3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	-		3.0	-			
1.3 吸音				-	4.0	0.20		3.0	-			
2 温熱環境				0.3	3.6	0.35	-	-	-	3.6		
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50	-	-	-			
1 室温				3.0	3.0	0.38		3.0	-			
2 外皮性能				3.0	3.0	0.25		3.0	-			
3 ゾーン別制御性				3.0	3.0	0.38		-	-			
2.2 湿度制御				3.0	3.0	0.20		3.0	-			
2.3 空調方式				3.0	5.0	0.30		3.0	-			
3 光・視環境				0.2	3.2	0.25	-	-	-	3.2		
3.1 昼光利用				0.3	2.2	0.30	-	-	-			
1 昼光率				3.0	1.0	0.60		3.0	-			
2 方位別開口				-	-	-		3.0	-			
3 昼光利用設備				3.0	4.0	0.40		3.0	-			
3.2 グレア対策				0.3	4.0	0.30	-	-	-			
1 昼光制御				5.0	4.0	1.00		3.0	-			
3.3 照度				3.0	4.0	0.15		3.0	-			
3.4 照明制御				3.0	3.0	0.25		3.0	-			
4 空気質環境				0.2	4.1	0.25	-	-	-	4.1		
4.1 発生源対策				0.5	5.0	0.50	-	-	-			
1 化学汚染物質				3.0	5.0	1.00		3.0	-			
4.2 換気				0.3	3.3	0.30	-	-	-			
1 換気量				3.0	4.0	0.33		3.0	-			
2 自然換気性能				3.0	3.0	0.33		3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.33		3.0	-			
4.3 運用管理				0.2	3.0	0.20	-	-	-			
1 CO ₂ の監視				3.0	3.0	0.50		-	-			
2 喫煙の制御				3.0	3.0	0.50		-	-			
Q2 サービス性能				-	-	0.30	-	-	-	3.8		
1 機能性				0.4	4.0	0.40	-	-	-	4.0		
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40	-	-	-			
1 広さ・収納性				3.0	3.0	0.33		3.0	-			
2 高度情報通信設備対応				3.0	3.0	0.33		3.0	-			
3 バリアフリー計画				3.0	3.0	0.33		-	-			
1.2 心理性・快適性				0.3	5.0	0.30	-	-	-			
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	5.0	0.33		3.0	-			
2 リフレッシュスペース				3.0	5.0	0.33		-	-			
3 内装計画				3.0	5.0	0.33		-	-			
1.3 維持管理				0.3	4.5	0.30	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	4.0	0.50		-	-			
2 維持管理用機能の確保				-	5.0	0.50		-	-			
2 耐用性・信頼性				0.3	3.9	0.31	-	-	-	3.9		
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	5.0	0.48	-	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	5.0	0.80		-	-			
2 免震・制震・制振性能				3.0	5.0	0.20		-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33	-	-	-			
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23		-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				-	3.0	0.23		-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09		-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08		-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	3.0	0.15		-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23		-	-			
2.4 信頼性				0.1	3.2	0.19	-	-	-			
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20		-	-			
2 給排水・衛生設備				3.0	5.0	0.20		-	-			
3 電気設備				3.0	4.0	0.20		-	-			
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20		-	-			
5 通信・情報設備				3.0	1.0	0.20		-	-			

3 対応性・更新性				0.2	3.4	0.29	-	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			②	0.3	4.6	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	-		5.0	0.60	-	3.0	-		
2	空間の形状・自由さ	3.0		4.0	0.40	-	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性				0.3	2.8	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	-		2.0	0.17	-	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0		3.0	0.17	-	-	-		
3	電気配線の更新性	3.0		3.0	0.11	-	-	-		
4	通信配線の更新性	3.0		3.0	0.11	-	-	-		
5	設備機器の更新性	3.0		3.0	0.22	-	-	-		
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22	-	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	3.7	
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	3.0	0.30	-	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	4.0	0.40	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	4.0	0.30	-	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	-	5.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	4.0
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.7	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			ハイドライドによる自然採光、エコシャフトによる自然換気	3.0	4.0	0.20	-	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.48	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0
4 効率的運用				0.2	3.5	0.20	-	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			各動力盤の電力量計量が可能。データを一定期間蓄積する	1.0	3.5	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング	3.0		4.0	0.50	-	-	-		
4.2	運用管理体制	3.0		3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-		3.0	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-		3.0	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	4.0
1 水資源保護				0.1	3.8	0.15	-	-	-	3.8
1.1 節水			節水型器具の採用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.6	0.60	-	-	-	
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	4.0	0.67	-	-	-	
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	4.3	0.63	-	-	-	4.3
2.1 材料使用量の削減			② 独自	Fe36、梁部材でSN490の採用、免震構造採用による部材断面縮小	-	4.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				高炉セメント	-	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				再生クラッシュラーン、ビニル系床材、再生木デッキ	3.0	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	3.0	0.05	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				独自	3.0	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.2	0.22	-	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.3	0.68	-	-	-	
1 消火剤				-	4.0	0.33	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.33	-	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.33	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			①	-	4.5	0.33	-	-	-	4.5
2 地域環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.3	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減				独自	-	3.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				独自	-	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制				独自	-	5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					-	2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.2	0.33	-	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音				独自	-	3.0	1.00	-	-	
2 振動				独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制				-	3.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	4.4	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	5.0	0.70	-	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-		

重点項目スコアシート
知多市新庁舎

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.5	0.10	3.9
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	4.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:21.7%/建物緑化:4.6%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		2.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	1.0	-	知多木綿を内装材に使用

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

環境設計の配慮事項

■建物名称 知多市新庁舎

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 市民の交流を育み、緑園都市を体現し、まちに賑わいを創出する庁舎
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 自然採光や自然換気をなどを積極的に取り入れるとともに、床吹き出し空調の採用や十分な遮音性能の確保などにより、執務空間の快適性を向上
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物は免震構造を採用、執務室は無柱としフレキシビリティに配慮するとともに、職員の打ち合わせや休憩など多目的に使える「サポートゾーン」を設置
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 緑豊かな周辺環境に呼応する外装計画、地域の伝統産業である知多木綿を活用した内装計画、市民ワークショップを実施
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 BPI0.70、BEI0.48を達成
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 雨水利用、エコマテリアルの積極的採用
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 十分な駐車場、駐輪場の確保
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。